

「人との距離」について考えよう」指導略案

1. 本時のねらい

- ① パーソナルスペースを知り、人とのちょうど良い距離を知る。
- ② 人によって「感じ方」が違うことを知る。
- ③ 「空気を読む」とはどんなことかを知り、自分の行動をふり返る。

2. 展開

【1 時間目】

時間	学習内容・活動	指導上の留意点	資料・道具
(5分)	あいさつ 1. 本時の内容説明		テレビ パソコン(PP 使用)
(35分)	2. 「パーソナルスペース」を説明し、 人との距離について考える。 3. 人とのちょうど良い距離を確認する。 4. いろいろな場面(状況)での正しい行動を確認する。 5. パーソナルスペースに近づく時の方法、入ってしまった時はどうするかを確認する。 6. ワークシートに取り組む	・知らない人同士や友達同士など、関係によって人との距離がどう変わるのか考えさせる。 (イメージしにくい場合は具体的に名前を挙げたり場面を説明したりする。) ・生徒に意見を聞く。 ・ワークシートが記入できているか確認する。	ワークシート
(10分)	7. まとめ PPを見て確認する。	①人とのちょうど良い距離は「うでの長さ」 ②パーソナルスペースに近づく時の方法と入ってしまった時の対応 ③まわりの人がどのように感じるかを考えて行動する。	
	あいさつ		

【2 時間目】

時間	学習内容・活動	指導上の留意点	資料・道具
(10分)	あいさつ 1. 前回の復習と本時の内容説明		テレビ パソコン(PP 使用)

(30分)	2. いろいろな場面（状況）で、自分だったらどんな風を感じるか、話す。 3. 「空気がよめる人」とはどんな人かを考え、空気を読むために大切なことを説明する。 4. 2. の場面の場合、どうしたらよいか考える。 5. ワークシートに取り組む	・生徒に意見を聞く。 （イメージしにくい場合は具体的に名前を挙げたり場面を説明したりする。） ・ワークシートが記入できているか確認する。	ワークシート
(10分)	6. まとめ PPを見て確認する。	①まわりの人がどのように感じるかを考えて行動する。	
	あいさつ		

ワークシート等資料をご覧になりたい方は、保健体育課（a6960-02@pref.saitama.lg.jp）までご連絡ください。